

# ClariMate

## Silent practice, digital play

ユーザーガイド (ClariMate App II) 日本語版

V - 1.2.10



**BUFFET  
CRAMPON**  
PARIS



〈ビュッフェ・克蘭ポン〉“ClariMate”（クラリメイト）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
このユーザーガイドには、ClariMateの多機能デジタルミュートとしての使用方法とクラリネットをデジタル音楽の世界につなげるための情報を記載しています。ClariMateのファームウェアのアップデートにより機能追加や変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は ClariMate公式ウェブサイトをご確認ください。  
本ユーザーマニュアルには、ClariMate App. II の内容を記載しています。

ClariMateがお手元にとどきましたら、保証登録をお願いいたします。  
ご登録いただくことで1年間の保証をいたします。

<https://www.bc-studentclarinet.jp/clarimate-garantee/>



# もくじ

## お取り扱い上のご注意

1

- 安全上のご注意 . . . 1
- 使用上のご注意 / お手入れの方法 . . . 2
- 本体および付属品一覧 / 各部の名称 . . . 3
- 組み立て方 . . . 4

## はじめに

5

ClariMateについて / 動作の仕組み / アプリケーションのダウンロード / ユーザ情報の登録 . . . 5

## ClariMate本体

6

- ClariMateのモード切替 / スタンドアロンモード . . . 6
- USBモード / Bluetoothモード . . . 7
- Bluetoothモードでのアプリケーション接続方法 . . . 8
- リカバリーモード . . . 9
- ファームウェアのアップデート . . . 10

## ClariMateアプリケーション

12

- アプリケーションの基本画面 (Home) / ① タブの説明 . . . 12
- ② パネルの説明 / ③ ヘルプの説明 . . . 13
- ④ チュートリアルの説明 . . . 14
- 音のキャリブレーション・運指認識の設定 (Note) . . . 15
- 吹奏感の調整 ① 抵抗感の調整 / ② アクティブリードの設定 (Blow) . . . 18
- ブレスプラグの使い方 / ClariMateの音量・調性の設定 . . . 20

## MIDIコントローラとしての使い方

21

- MIDIの概要 . . . 21
- MIDIコントローラ機能 . . . 22
- MIDI Mate . . . 23

## トラブルシューティング

25

## 仕様、互換性のあるAppleモデル、Bluetoothについて

26



# お取り扱い上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、下記の内容をお守りいただいた上でお使いください。ClariMateをご使用になる前に、以下の安全情報をお読みください。

## 安全上のご注意

- ClariMate には精密な電子部品が内蔵されています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 温度が極端な場所（密閉された車内での直射日光、暖房ダクトの付近、発熱機器の上など）
  - 湿気のある場所（浴室、洗面所、濡れた床の上など）
  - 蒸気や煙にさらされる場所
  - 塩分にさらされる場所
  - 液体にさらされる場所
  - ほこりや砂の多い場所
  - 重度の振動や揺れのある場所
  - 換気が不十分な場所
- 内蔵のバッテリーは丁寧に扱ってください。不適切な使用を行った場合は、液漏れや過熱、燃焼、爆発などのおそれがあります。
- 聴覚の損傷を防ぐため、大音量で長時間音を聴かないでください。長時間大音量で ClariMate を使用すると、難聴を引き起こすおそれがあります。難聴や耳鳴りに見舞われた場合は、直ちに使用を中止し専門医の診察を受けてください。
- ClariMate の正しい使用による唾液は動作品質に影響はありませんが、そのほかの異物や液体が ClariMate 内部に入らないようにしてください。また、液体の入った容器（花瓶など）を絶対に ClariMate の上に置かないでください。温度や湿度が大きく異なる場所に移動させた場合、ClariMate 本体の内部で結露が発生する場合があります。この状態で ClariMate をお使いになると損傷や故障のおそれがあるため、結露が完全に蒸発するまで ClariMate を数時間置いておいてください。
- 全ての電源コードおよびケーブルは、絡まないように使用してください。ケーブルにつまずいたり ClariMate が落下または横転したりした場合は、けがにつながるおそれがあります。
- ClariMate の上に乗ったり、重い物を置いたりしないでください。けがや ClariMate 損傷のおそれがあります。
- ClariMate を移動させる前に、全てのコードや USB ケーブルを抜いてください。ケーブルを外すことを怠った場合、損傷や故障のおそれがあります。
- ClariMate を落としたりぶつけるなど、強い振動を与えないようにしてください。損傷した ClariMate はけがの原因となるおそれがあるためご使用をお控えください。
- 小さいお子さまがけがをしないようご注意ください。お子さまのいる場所での使用やお子さまがお使いになる場合は、必ず大人がそばにつき、監視・監督を行ってください。
- ClariMate を分解したり、ご自身で ClariMate の修理を試みたりすることはやめてください。
- 異物（可燃物や硬貨、配線など）や液体（水やジュースなど）が製品内部に入らないようにしてください。短絡（ショート）、誤作動、またはその他の故障の原因となるおそれがあります。
- ClariMate の充電には、付属の USB A to C ケーブルをお使いください。それ以外の USB ケーブルやアダプタは安全基準を満たしていないおそれがあるため、死亡や負傷の危険性が生じる場合があります。損傷したケーブルや充電器の使用、または湿気のある場所での充電は火災、感電、負傷のおそれがあるため、やめてください。また、ClariMate は高速充電には対応しておりません。
- 異常や故障が発生した場合は、直ちに ClariMate の電源を切ってください。ClariMate が明らかに正常に動作しない場合や、性能に明らかに変化がある場合は、株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンの ClariMate ヘルプデスク、またはお買い上げのビュッフェ・クランポン・ジャパン公認特約店へご連絡ください。

## 使用上のご注意

- パワーアンプ（または大型電源トランスを内蔵したその他機器）の付近で ClariMate を使用すると、ハム音（低周波ノイズ）が発生する場合があります。この問題を軽減するには、ClariMate の向きを変えるか、干渉源から離れた場所へ移動させてください。
- ClariMate は、ラジオやテレビの受信に干渉する場合があります。そのような受信機の付近では ClariMate を使用しないでください。
- 携帯電話などの無線通信機器を ClariMate の付近で使用すると、ノイズが発生する場合があります。このようなノイズは、電話を受けたり通話が開始されたりした場合や、会話中に発生する可能性があります。このような問題が発生した場合は、無線機器が ClariMate から遠く離れるよう移動させるか、電源を切ってください。
- ClariMate をご使用中に作成されたデータは、ClariMate アプリケーションに保存してください。動作確認のために株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンに ClariMate をご発送いただく場合、事前に ClariMate 内に保存されているデータのバックアップをお取りください。当社で ClariMate の動作確認を行う際に、コンテンツが喪失した場合、株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンは一切の責任を負いかねます。

## お手入れの方法

- ClariMate 本体は乾いた布で拭いてください。
- プレスチューブは、軽く引っ張り取り外したあと、水で洗い、自然乾燥させてください。
- アクティブリードはぬるま湯で優しく洗ったあとに、自然乾燥させてください。
- ClariMate 本体のプレスチューブ差込口、またはヘッドフォン内部や充電ポートには水分などの液体が入らないようにしてください。
- 変色や変形の可能性を避けるため、ベンジン、シンナ、アルコール、およびいかなる種類の溶剤も使用しないでください。

## 本体および付属品一覧

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。  
万一、不足していたり破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



ClariMate



ケース



USB A to C ケーブル



アクティブリード 2個



ブレスチューブ



ブレス調整用プラグ 3個  
直径2mm,3mm,4mm

本体と付属品の紹介動画はこちら



## 各部の名称

ClariMate本体

ボタンA  
(USBモード起動)  
(音量アップ)

ボタンB  
(Bluetoothモード起動)  
(音量ダウン)

USB Cポート  
(PC接続)  
(充電)  
(MIDIコントローラ)

マウスピース差込口

横から見た  
ClariMate本体

ボタンC  
(電源ボタン)

Oリング

3.5mmミニステレオジャック  
(イヤホン/ヘッドフォン接続)

バレル差込口

## ブレスチューブ / ブレス調整用プラグ



チューブの太い方をClariMateの下側に  
に取り付けてください。

チューブの細い方をクラリネットの中に挿し込んでください。  
(チューブに付着した白い粉は、製品劣化ではありません。)

ブレス調整用プラグは、チューブの細い方に取り付けてください。

## アクティブリード



- アクティブリードは、2個ともに同じ仕様です。
- ケーンや合成樹脂のリードと同様に、ご自身のマウスピースに取り付けてください。
- アクティブリードを使用しClariMateで設定を行うと、ヴィブラートなどを認識しません。→ (P.18 - 19)
- アクティブリードではなく、ケーンや合成樹脂のリードをお使いいただけますが、リード特有の振動が音の認識を妨げ、うまく音を認識しない場合があります。
- 音を認識しない場合、リードをマウスピースの先端から下げて取り付けてください。
- ケーンや合成樹脂のリードを使用する場合、ヴィブラートなどの認識はされません。
- 金属製やガラス製のマウスピースを使用する場合、アクティブリードに付属している鏡が光の反射を正常に認識できないため、音が出ない場合があります。
- ハードラバー製のマウスピースより柔らかいABS樹脂製のため、マウスピースの内部を傷つけないよう配慮して設計されていますが、気になる方は練習用のマウスピースをご使用ください。

アンブシュアを認識するための鏡が付属しています。  
数分間演奏をしたあとにアクティブリードを設定してください。

## 組み立て方

1. ブレスチューブの端が黒色の側を、ClariMate 本体のブレスチューブ差し込み口に取り付けます。
2. チューブの端が灰色の側を組み立て済みのクラリネットのバレル上部に挿入した後、ClariMate のねじ部分をしっかりと回してクラリネットのバレルに取り付けます。
3. お手持ちのリガチャーを使用して、同梱のアクティブリードをマウスピースに取り付けます。
4. マウスピースを ClariMate のバレルに挿入します。
5. ブレスチューブの端に同梱のプラグのいずれかを挿し込むことで、空気抵抗を大きくすることができます。「D2」と書かれたプラグは抵抗が最も大きく、「D4」と書かれたプラグは抵抗が最も小さくなります。  
※ブレス調整用プラグの使用は必須ではありません。吹奏感のお好みに応じてご使用ください。

組み立て方の紹介動画はこちら



# はじめに

## ClariMateについて

ClariMate は、Buffet Crampon 社と Audio Inventions 社が共同設計を行ったリバーシブルハイブリッド機器で、クラリネットをデジタルの世界につなぐ製品です。ClariMate をクラリネットに装着することにより、デジタルミュートとして（外部には音が聞こえない状態で）の練習を可能にするほか、クラリネットを使ってデジタル音楽の制作ができます。ClariMate には高精度センサおよび特許取得済みの音認識技術が搭載されており、奏者のアンブシュアの状態やブレス、および運指をデジタル信号へと変換します。有線ヘッドホンを ClariMate に接続すると、独自のバーチャル・クラリネット・シンセサイザー機能により、外部には音が聞こえない状態で演奏ができます。

また、ClariMate をコンピュータやタブレット、あるいはスマートフォンに接続すると、ClariMate を MIDI コントローラとして使用することができます。

## 動作の仕組み

ClariMate に搭載されている高精度センサが、奏者のアンブシュアの状態およびブレスのコントロールをデジタル信号へと変換します。運指は、ClariMate が発するブーンという柔らかい連続音（ClariMate の信号音）である特許取得済みの技術を用いて検知されます。ClariMate はこの聴覚刺激を常に測定する必要があるため、信号音認識を妨げるような大きな音が発される環境下やアンプとの併用では機能しません。

ClariMate はコンピューターやスマートフォン、タブレットがなくてもスタンドアロンモードでお使いいただけますが、はじめてご使用いただく際には、まず ClariMate アプリケーションに接続し、ご自身の楽器に合わせて音検出のための設定（音のキャリブレーション）を行うことをおすすめします。なお、急激な温度変化がある場合、機能を十分に発揮できないため、室温環境でご使用ください。

## ClariMate アプリケーションのダウンロード

ClariMate は、ClariMate 専用のアプリケーションによって、お使いのクラリネットに合わせた運指の調整や吹奏感のお好みに合わせた設定変更を行うことができます。アプリケーションは Windows、MacOS、iOS、Android スマートフォンおよびタブレットでお使いいただけます。Windows および MacOS バージョンにつきましては、Bluetooth または USB ケーブル を介してアプリケーションに接続可能です。アプリケーションはウェブサイトよりダウンロードいただけます。

必要環境：Windows 10、MacOS 12.7、iOS 16.7、Android 11

アプリケーションのダウンロードはこちらから  
[https://Clarimate.jp/support/\(日本\)](https://Clarimate.jp/support/(日本))



## ユーザ情報の登録

ClariMate App. II より、ユーザー情報の登録が必須となりました。上記のウェブサイトからアプリケーションをダウンロード後、案内に従い、メールアドレスの登録ならびにユーザー情報の登録を行ってください。

画面右上より使用言語の設定ができます。

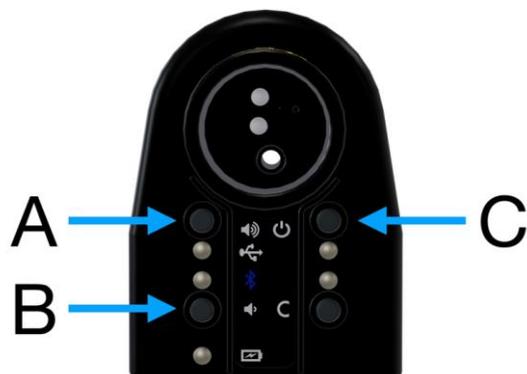


# ClariMate本体

## ClariMateのモード切替

ClariMateには、3つの動作モードがあります。(スタンドアロン、USB、Bluetooth)

本体のボタン操作により電源の入り切りやモードの切り替えを行うことができます。



### ♪ポイント

- 各モードを起動する際は、ランプの点灯が確認できたあとに、モードボタンから指をはなしてください。
- 起動中は、ClariMateの信号音(ブーンという柔らかい音)が聞こえるまで息を入れしないでください。起動中に息を入れると、プレスセンサーの調整がうまくいかない場合があります。
- ボタンAは音量アップ、ボタンBは音量ダウンです。

## ● スタンドアロンモード

コンピューターやタブレットなどのデバイスを使用せずにClariMate単体で使うモードです。

はじめてスタンドアロンモードで起動した場合も工場出荷時のソフトウェアがインストールされていますのでそのままご使用いただけますが、うまく音を認識しない場合は、アプリケーションで音のキャリブレーション(運指の設定)を行ってください。

### Standalone Mode



#### 起動方法

- ボタンCを押す
- 緑のランプが点灯する
- ClariMateからブーンという信号音が聞こえ、緑のランプが点滅する(起動完了)

もう一度ボタンCを押すと、ClariMateの電源がオフになります。(全モード共通)

### ♪ポイント

USBモードやBluetoothモードで設定した内容は、スタンドアロンモードのClariMateに自動的に引き継がれます。ご購入後、USBモードでアプリケーションを使い、運指の認識状態の確認や吹奏感のセッティングを行うことをおすすめします。

## ● USBモード

付属のUSBケーブルを用いてコンピュータに接続し、ClariMate を使うモードです。

ClariMate を Windows または MacOS コンピュータ、AndroidOSのタブレットやスマートフォン上の ClariMate アプリケーションに接続することができます。(アプリケーションのダウンロード→(P.5))

\*iOSを搭載したスマートフォンおよびタブレットでは、USBモードは非対応です。

できること: ClariMateアプリケーションを使用した設定変更(運指、吹奏感、音量など)→(P.12~)

MIDIコントローラとしての使用→(P.21)

ClariMateの充電(付属のUSB A to Cケーブルを使用してください)

### USB Mode



#### 起動方法

1. 付属のUSBケーブルを使い、ClariMateと使用するPC等の端末に接続する
2. ClariMateのボタンAを押した状態で、ボタンCを1秒程度押す
3. オレンジのランプが点灯する
4. デバイス上のClariMateアプリケーションを起動する
5. ClariMateからブーンという信号音が聞こえ、ClariMateのオレンジのランプが点滅する(起動完了)

## ● Bluetoothモード

Bluetoothでコンピューターもしくはスマートフォン、タブレットに接続し、ClariMate を使うモードです。

ClariMate を iOS、Android、MacOS、または Windows デバイス上の ClariMate アプリケーションに接続できます。

できること: ClariMateアプリケーションを使用した設定変更(運指、吹奏感、音量など)→(P.12~)

MIDIコントローラとしての使用→(P.21)

プレイアロング機能

### Bluetooth Mode



#### 起動方法

1. ClariMateのボタンBを押した状態で、ボタンAを1秒程度押す
2. 青いランプが点灯する
3. Bluetoothモードで起動後、アプリケーションを立ち上げる。  
※アプリケーションとの接続方法はP.8をご確認ください。

## ● プレイアロング機能

ClariMateには音声受信用のBluetoothが搭載されているため、Bluetoothモードで接続している端末(コンピューター、スマートフォン、タブレット)のアプリケーション内の音楽に合わせて演奏できます。

使い方1: お気に入りの奏者の音源に合わせて演奏をする(カラオケとして使用)

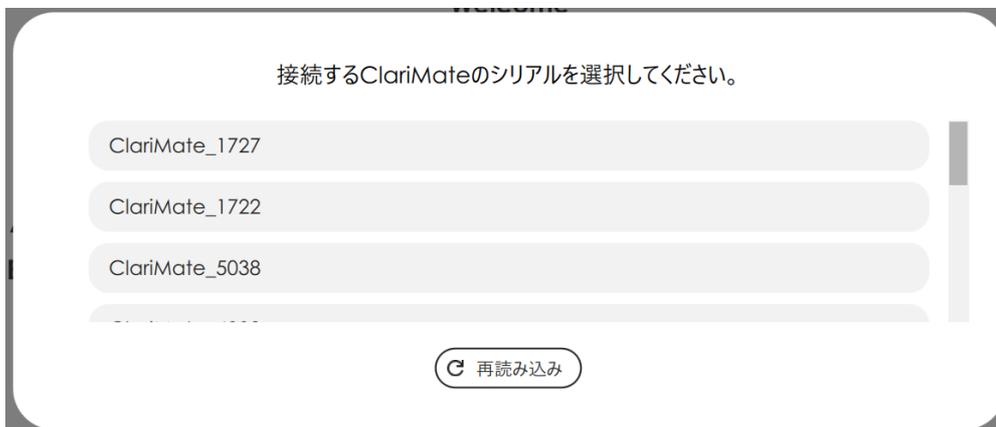
使い方2: メトロノームのアプリケーションに合わせてスケール等の練習をする

注: ClariMateに搭載されているBluetoothは音声を送信できません。

ClariMate を Bluetooth対応のワイヤレスイヤホン・ヘッドホンやワイヤレススピーカーと接続はできません。

## ● Bluetoothモードでのアプリケーション接続方法

ClariMate公式ウェブサイトあるいはApp Store、GooglePlayよりダウンロードしたアプリを起動し、ユーザー登録を完了させると、次のアプリケーション起動画面が表示されます。  
USBモードで接続する場合は自動的にアプリケーションのメイン画面に移行しますが、Bluetoothモードで接続する場合は、画面下部の【シリアルの設定】ボタンをクリックし、ペアリングします。



### ♪ポイント

ClariMate\_〇〇〇〇の4桁の数字は、ClariMateのシリアルナンバーです。  
保証書もしくは本体裏面に記載されています。

はじめてClariMateとWindows端末を接続する方は下記の手順でペアリングを行ってください。

「スタート」⇒「PC設定」⇒「デバイス」⇒「Bluetoothとその他のデバイス」⇒「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」⇒「Bluetooth」⇒「ClariMate\_(シリアルナンバー4桁)」をクリック

## ● リカバリーモード

ClariMate本体のファームウェアアップデートのほか、電源が入らないなど正常に動作しなくなったClariMateの復旧のためファームウェアを再インストールする際に使用します。

リカバリーモードでClariMateのファームウェアの更新を行っても改善しない場合は、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

### Recovery Mode



### リカバリーモードの手順

1. ボタンAとボタンBを同時に押した状態でボタンCを1秒程度押す
2. 右下の黄色いランプが点灯する
3. 付属のUSBケーブルを使用し、コンピューターとClariMateを接続する
4. コンピューター版ClariMateアプリケーションを立ち上げると、ファームウェアの再インストールの案内が表示される。案内に従いアップデートを行う。
5. アップデート後は、使用したいモードで起動してください。

## ファームウェアのアップデート

ClariMate は、常に最新のファームウェアでご使用ください。

ファームウェアは、Windows または MacOS 向け ClariMateアプリケーション利用時にアップデートできます。最新のファームウェアがリリースされている場合、次の案内画面が表示されますので、それに従いアップデートを進めてください。



1. 付属のUSBケーブルは、次のように ClariMateとコンピューターと接続してください。

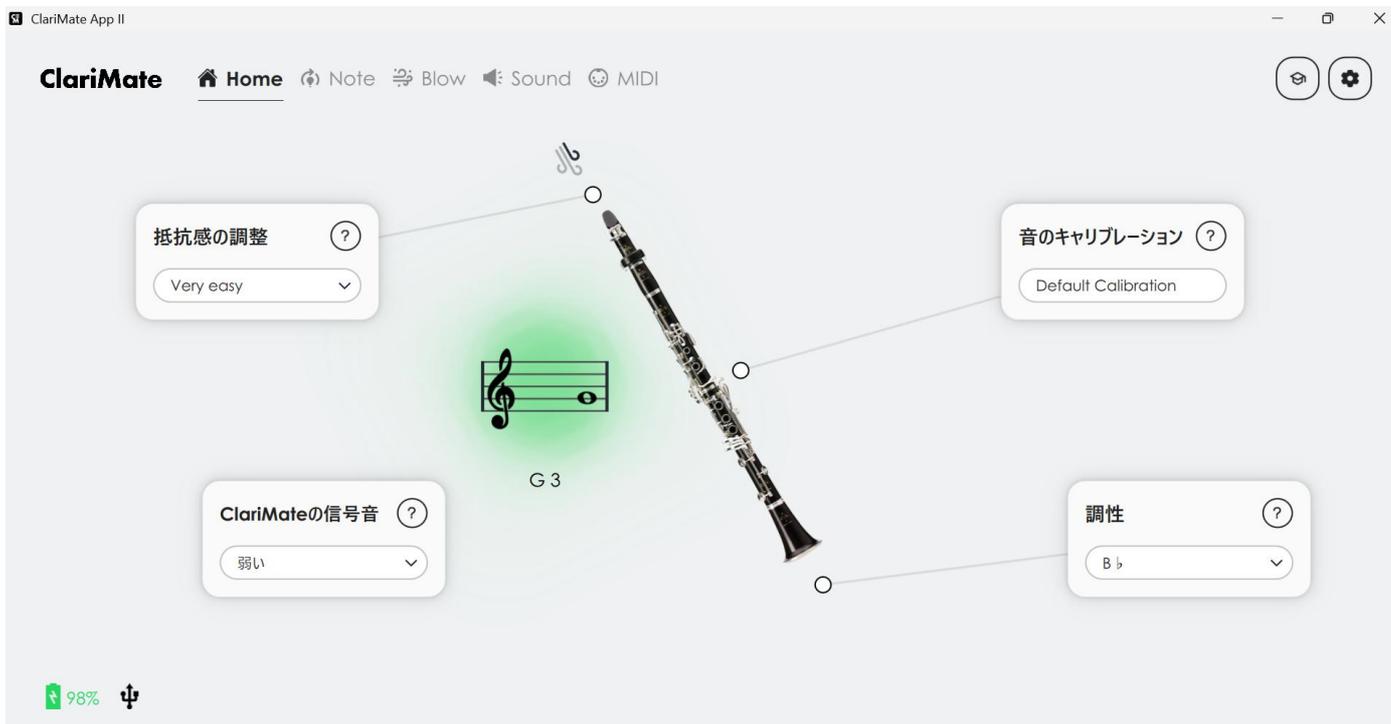


2. リカバリーモードのClariMateと端末を接続すると、アップデート画面が下記の表示に切り替わります。「アップデート」ボタンをクリックし、アップデートを進めてください。

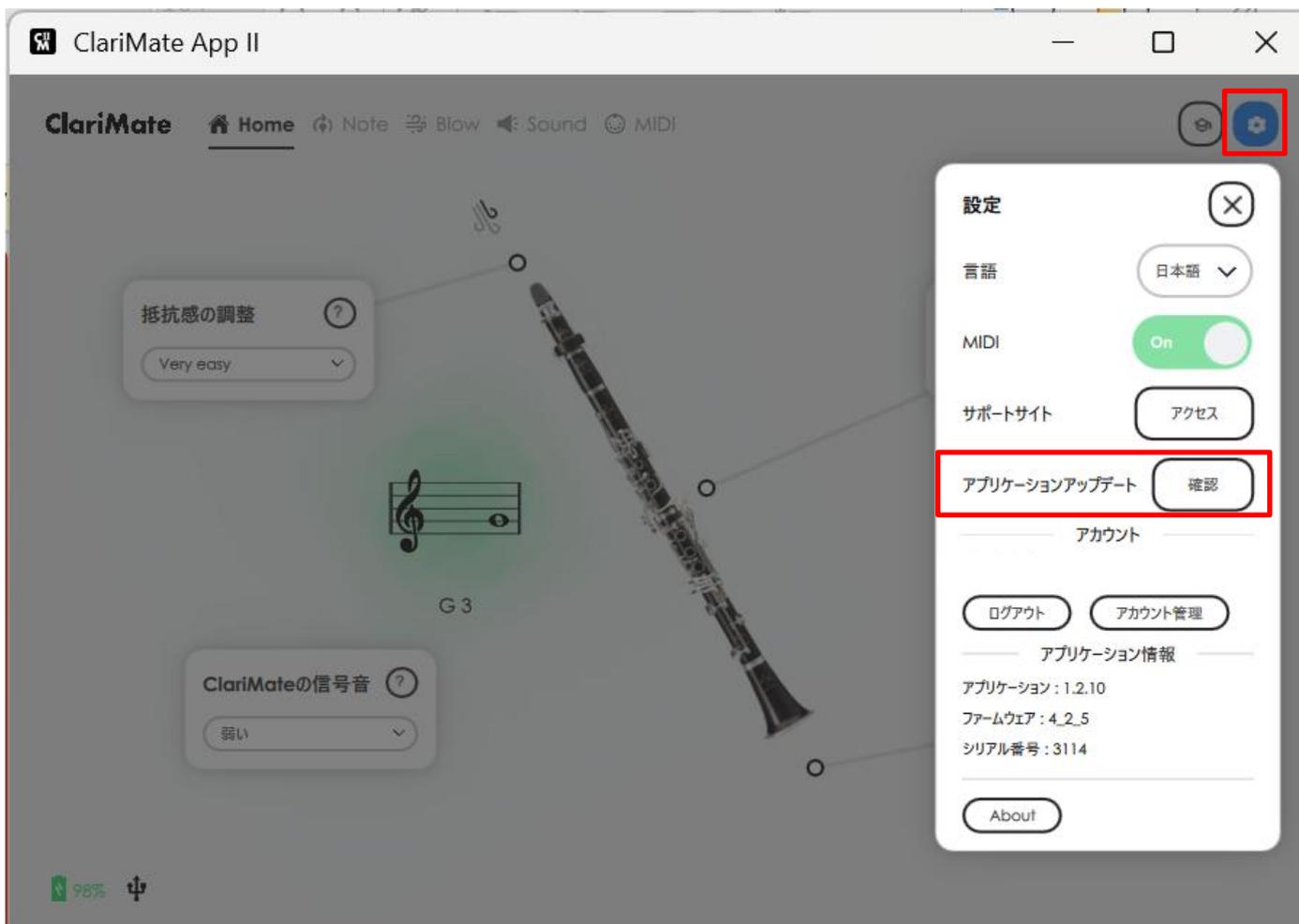


3. アップデート後は、自動的に ClariMate とアプリケーションが接続を開始します。  
ClariMate はUSBモードで接続され、本体のオレンジ色のランプが点滅します。

**注意：読み込みは、ClariMateに息を入れないでください。**



4. 画面右上の「設定」をクリックすると、ClariMateのアカウント情報が表示されます。  
新しいファームウェアがリリースされている場合は、「アプリケーションアップデート」から確認することができます。



# ClariMate アプリケーション

## アプリケーションの基本画面 (Home)

この画面では、ClariMateの設定を変更し、好みの吹奏感や調性にカスタマイズすることができます。各画面に表示されている枠を「パネル」と言い、「パネル」内の①マークをクリックすると、パネルごとのヘルプを読むことができます。

また、アプリケーション右上のチュートリアルより、ClariMate App IIの使い方を学ぶことができます。



### ① タブの説明

タブ	画面機能
 Home	ClariMateの基本的な設定項目が表示されています。 「抵抗感の調整」: ClariMateが最大音量に達するのがどれくらい簡単かを調整します。 「ClariMateの信号音」: 信号音の音量を3段階で設定できます。 「音のキャリブレーション」: 使用するファイルの選択や新規作成ができます。 「調性」: ヘッドホンから聞こえてくるClariMateの音の調性を設定できます。
 Note	旧トレーニングセットです。 使用中の楽器に合わせた運指の設定を行います。
 Breath	ClariMateを演奏した時の抵抗感の調整とアクティブリードの設定を行います。
 Sound	ヘッドホンから聞こえてくるClariMateの音量と調性を設定できます。
 MIDI	MIDIの各種設定を行います。

## ② パネルの説明

ClariMateは、各タブに表示されている「パネル」を使って設定することができます。

パネル	機能の説明
	抵抗感の調整では、お好みに合わせて次の5段階で音を出すために必要な息の量を設定することができます。 「Very easy」「Easy」「Medium」「Hard」「Very Hard」
	ClariMateの音の認識技術の重要な要素である信号音のレベルを次の3段階で設定することができます。「強い」「デフォルト」「弱い」 初期設定は「デフォルト」ですが、使用している環境音に合わせて信号音の音量を調整してください。演奏している時にうまく反応しない場合は、「強い」を選択してください。 ※信号音を「強い」にした場合も、ライブ会場などでのパフォーマンスには、適しません。
	旧トレーニングセットです。 「Home」タブの「音のキャリブレーション」では、作成済みのファイルの設定もしくは新規ファイルの作成を行うことができます。 ここで新規作成したファイルは、「Note」タブで設定することができます。
	イヤホンやヘッドホンから聞こえてくるClariMateの音の調性を次の5種類から設定することができます。 「Bass」「Bb」「A」「C」「Eb」 初期設定は、「Bb」です。

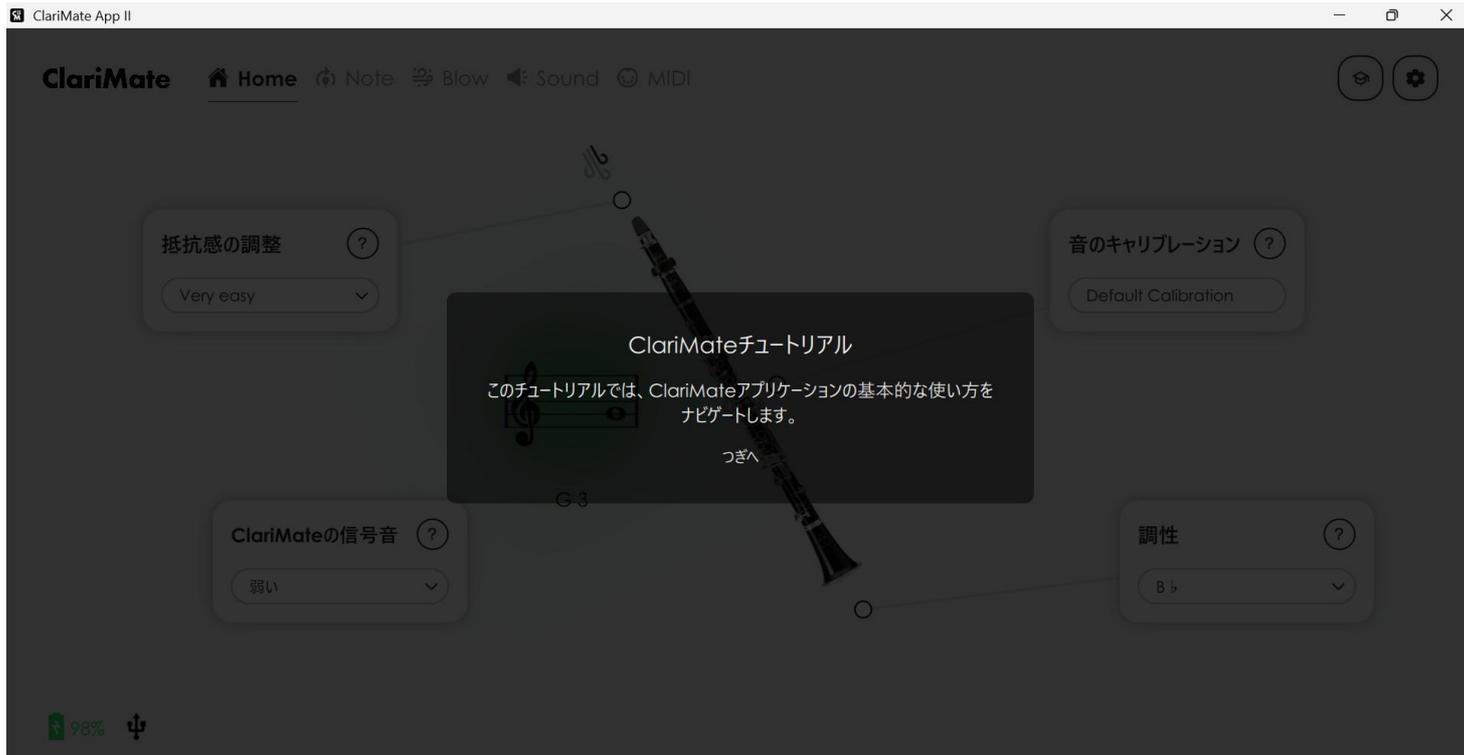
## ③ ヘルプの説明

各「パネル」の使い方を読むことができます。



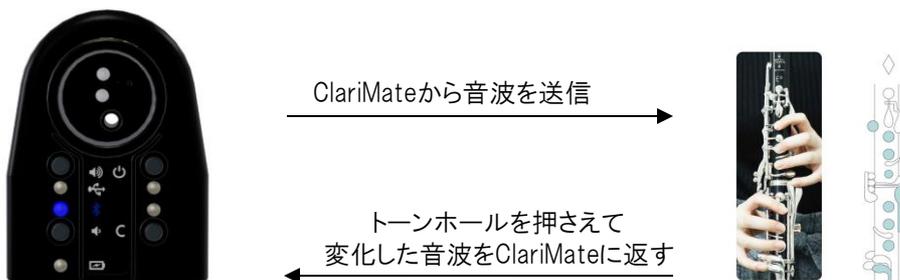
## ④ チュートリアルの説明

ClariMate App. II の基本的な使い方を11ステップのチュートリアルで学ぶことができます。



## ClariMateの運指認識のしくみ (Note)

この画面では、使用中の楽器に合わせた音認識のカスタマイズを行います。クラリネットはメーカーやモデルの違いだけでなく、使用するバレルによっても管体の長さが異なります。ClariMateの音認識は、ClariMateから出力された音波が押さえるトーンホールごとに変化し、その変化した周波数をClariMateに送り返す仕組みで動作しています。



楽器に合わせた運指の認識設定のことを「音のキャリブレーション」と呼びます。ClariMateには多くのクラリネットに対応したファームウェアがプリインストールされていますが、ご使用の楽器に合わせたキャリブレーション作業を行うことで運指の認識度を向上させることができます。すべての音域のご自身の楽器に合わせて設定することもできますが、ClariMateを使って演奏をした際に反応しにくい音や認識度が低い音のみを設定することを推奨しています。

## 音のキャリブレーション・運指認識の設定 (Note)

「Note」タブでは、ClariMateの運指検出機能のキャリブレーションを行います。これにより、ClariMateは運指の変化に素早く反応し、遅延なく、より速く、より巧みに演奏できるようになります。作成したキャリブレーションファイルは音のキャリブレーションファイルに保存され、各デバイスで同じアカウントにログインしている場合、デバイス間で同期されます。ClariMateのすべての設定(音量、抵抗感、調性、MIDI設定など)は、キャリブレーションファイルの一部として保存されます。

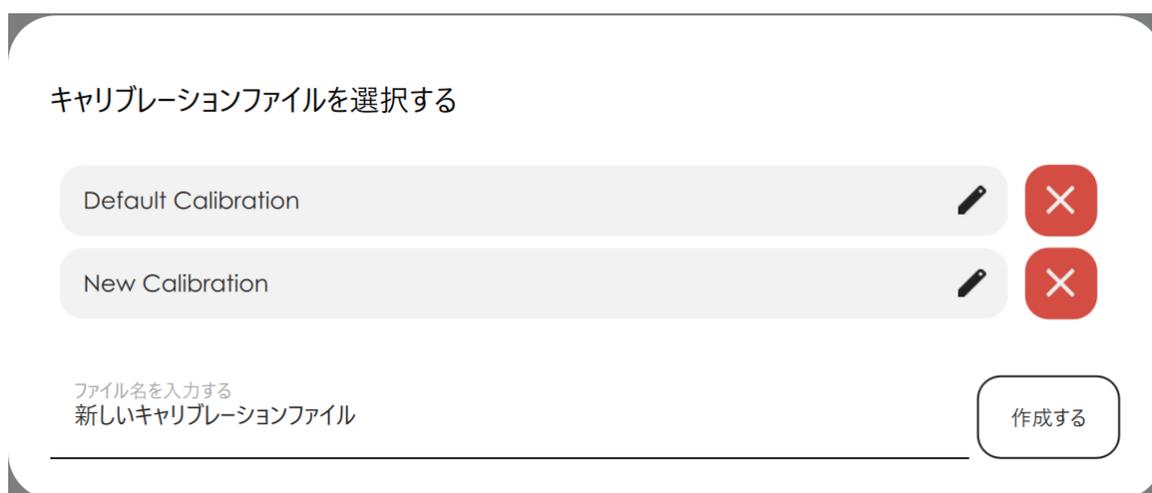
\*ClariMate App. II より、トレーニングセットから音のキャリブレーションに名称が変更となりました。



### ① 「パネル」：音のキャリブレーション

このパネルでは、キャリブレーションファイルの新規作成・切り替えを行います。パネルに表示されているファイル名をクリックすると次の画面が表示され、使用するファイルの新規作成・切り替えを行うことができます。

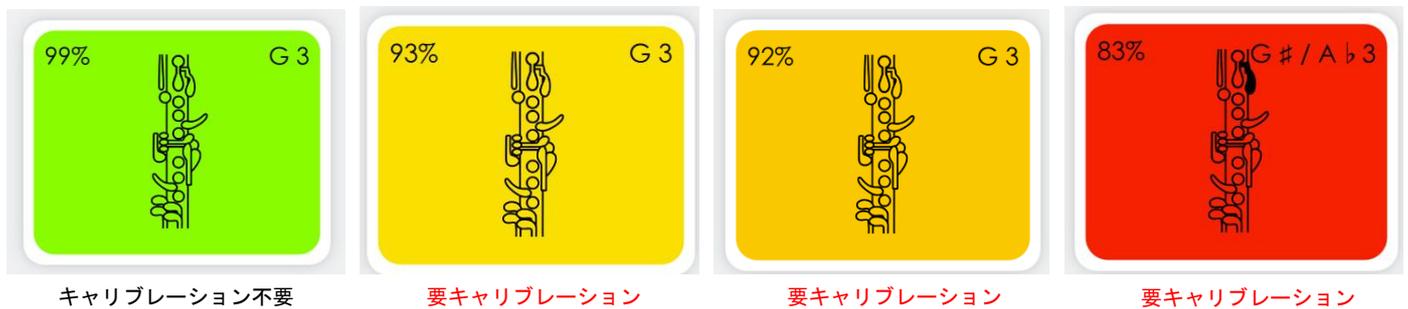
音のキャリブレーションの設定は、ここで選択したファイルに上書きされます。



- ・新しいキャリブレーションファイルを作成する場合：  
「ファイル名を入力する」という欄に好きな名称を入力してください。
- ・別のキャリブレーションファイルに切り替えたい場合：  
使用したいキャリブレーションファイルをクリックしてください。

## ② カード：現在構えている運指の状態

カードの背景色は、運指のキャリブレーションの状態を示しています。  
黄色、オレンジ、赤で表示されている運指（95%以下）はキャリブレーションが必要です。  
このパーセンテージは、ClariMateがこの運指を認識する信頼度を表しており、これが高いほど  
運指を認識するスピードが速くなります。



## ③ キャリブレーション作業の3つのステップ

音のキャリブレーションを行うときの3つのステップの状態が表示されます。  
この表示に従って、運指の設定を進めてください。



**Place fingers** : 設定したい音の運指で楽器を構えます。  
フリーモードの場合：設定したい音の運指  
ガイドモードの場合：表示されているカードの運指

**Blow** : ふっと短く息を入れます。

**Hold still!** : 構えた運指を動かさずにそのまま待機します。

設定に成功した場合は、左側の完了画面、失敗した場合は、右側の完了画面が表示されます。  
設定に失敗した場合は、再度3つのステップをお試しください。



## ④ ⑤ 運指を設定する際の3つのモード

運指のキャリブレーションは、次の3つのモードで行うことができます。

**フリーモード**：ClariMateによって自動的に検出された運指が表示されます。

**ガイドモード**：全音域（E2～G5）を順番に設定するモードです。（従来通り）

**ロックモード**：⑤の高音部表から設定したい音を選択するモードです。  
設定後、自動的にロックが解除されますが、ロックモードから切り替える場合、  
ロック解除をクリックしてください。



\*ガイドモードと(雌琴)クモードでは、替え指を設定するすることができます。  
表示されているカードの矢印で、設定したい替え指を表示させてください。

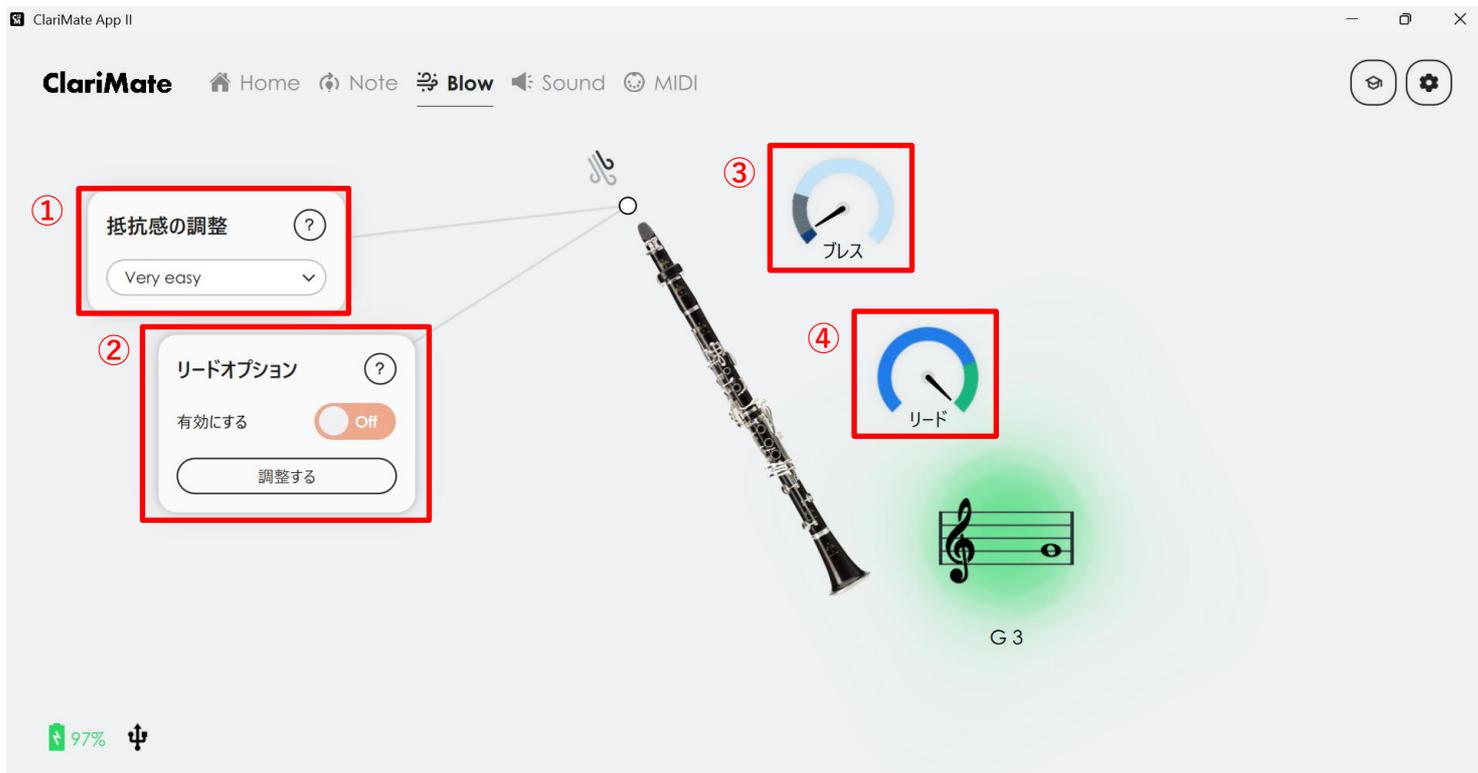
ロックモード

キャリブレーション設定後、右上の「パネル」より、ファイルの保存を行ってください。



## 吹奏感の調整／抵抗感の調整、アクティブ・リードの設定（Blow）

このタブでは、ClariMateを演奏したときの抵抗感の調整と感度とアクティブリードの調整により、実際のクラリネットの吹奏感に近い状態を再現しています。この2種類の設定と、ブレス調整用プラグを組み合わせることで、より実際の吹奏感に近づけることができます。



### ① 抵抗感の調整

ClariMateの音を出すために必要な息の量を5段階で設定します。

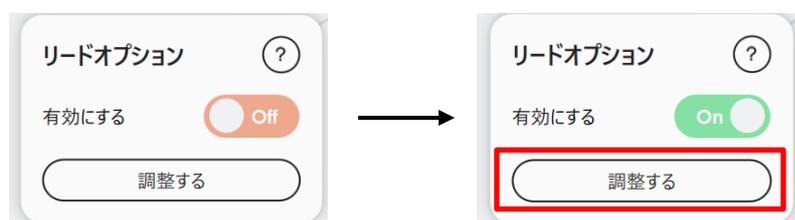
この設定変更している間は、息を入れしないでください。

### ② アクティブ・リードの設定（オプション）

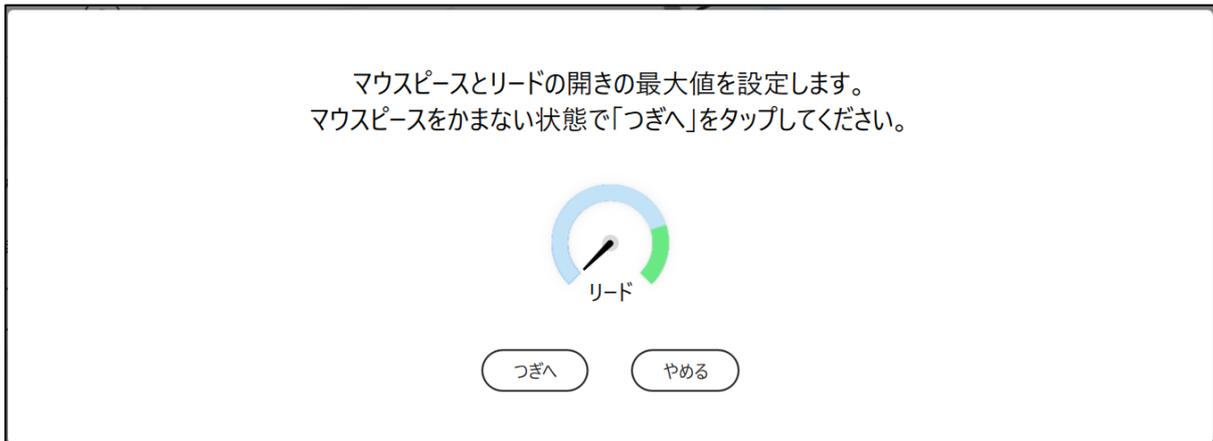
ClariMateには、特別に設計されたアクティブリードが付属されており、ClariMateに内蔵されたシンセサイザーのピッチを微調整したり、MIDI経由でピッチベンドメッセージを送信することができます。この機能を使用しない場合、アクティブリードの代わりにケーンリードまたは合成リードを使用できます。ケーンリードまたは合成リードを使用する場合は、演奏中にリードが振動しないようにご注意ください。振動の影響でブレスセンサーと運指の認識度が低下します。

アクティブ・リードの設定手順

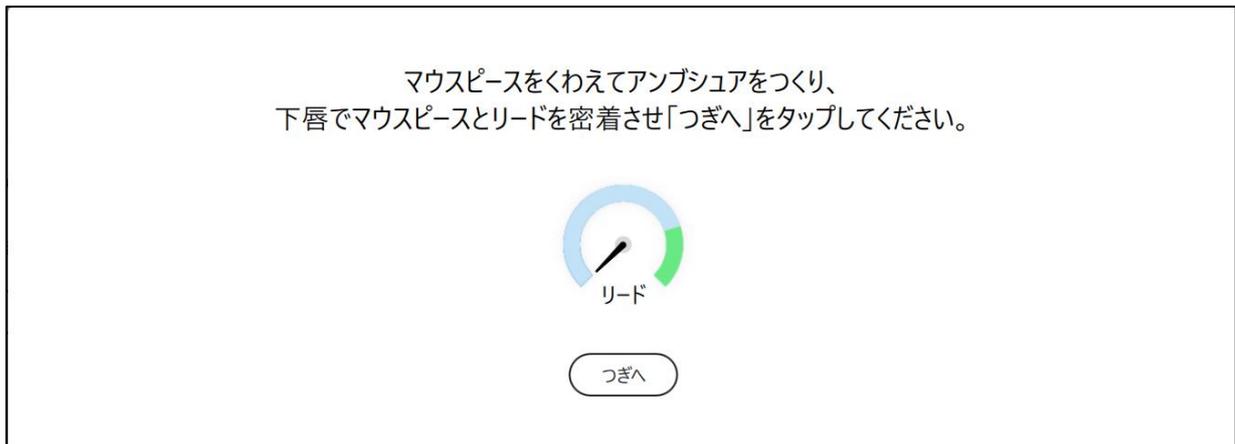
1. リードオプションを有効化し、「調整する」をクリックします。



2. マウスピースとリードの間が最も開いている状態を設定します。



3. マウスピースとリードの間が最も閉じている状態を設定します。  
(リードとマウスピースが密着している状態)  
設定がうまく行かない場合は、親指でリードを押さえることも有効です。



4. 設定が成功した場合は、アクティブ・リードの機能を使って演奏をすることができます。  
失敗した場合は右側のポップアップが表示されるので、「やめる」を選択したあとに再度設定を行ってください。



### ③ 息圧のゲージ

ClariMateで音を出すためには、針がグレーを越えるように息を入れる必要があります。

### ④ アクティブ・リードのゲージ

リードの動きを表します。針がグリーンの中にある場合、ClariMateは正しい音程で演奏します。

## ブレスプラグの使い方 (Blow)

クラリネット奏者はさまざまなマウスピースとリードの組み合わせを使用するため、それぞれのセッティングによって空気抵抗のレベルが異なり、それが演奏者の息のコントロールと演奏体験に大きく影響します。

ご自身のセッティングにより近づけるために、3つの方法を用意しています。

これらの組み合わせ方は個人の好みによって異なります。

- ① 5段階の抵抗感の調整
- ② ブレスチューブにブレスプラグを取り付ける
- ③ アクティブ・リードの設定 (オプション)

ここでは設定例をいくつかご紹介します。

**自由に吹き抜ける、応答性の高いセットアップの場合：**

ブレスプラグ: なし

抵抗感の調整: Very easy

**空気抵抗を増やして応答性の高いセットアップの場合：**

プラグ: D2

抵抗感の調整: Very easy

**大量の空気を必要とするフリーフロー設定の場合：**

ブレスプラグ: なし

抵抗感の調整: Hard

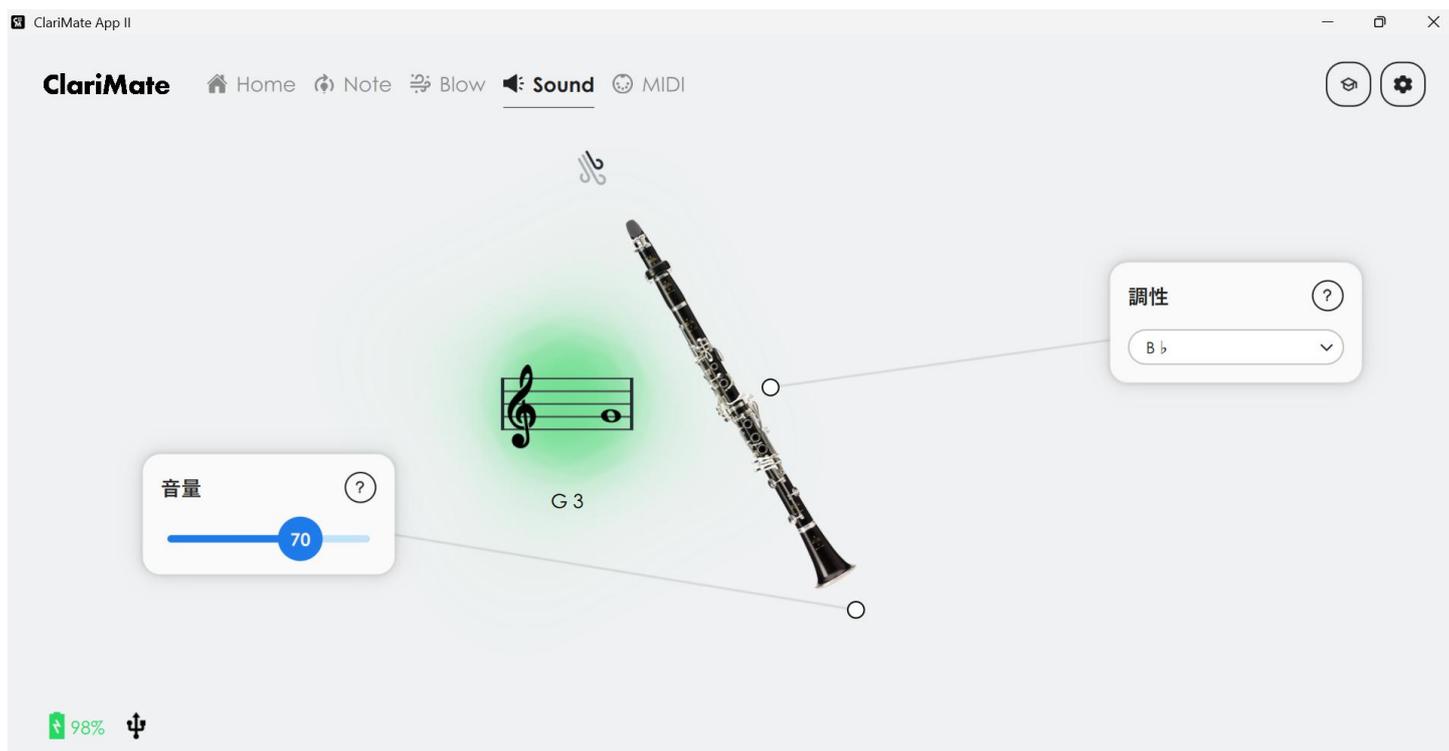
**大量の空気を必要とし、大きな空気抵抗が発生するセットアップの場合：**

ブレスプラグ: D2

抵抗感の調整: Hard

## ClariMateの音量・調性の設定 (Sound)

ここでは、イヤホンやヘッドホンから聞こえるClariMateの音量と調性の設定を行います。



# MIDI コントローラとしての使い方

## MIDIの概要

MIDIは「Musical Instrument Digital Interface（音楽機器デジタルインターフェース）」の略称で、デジタル環境で音楽情報を伝送するための通信プロトコルです。楽譜が演奏者間で音楽情報を伝達するために使用されるのと同様に、MIDIはシンセサイザー、サンプラー、コンピューター、そしてClariMateのようなMIDIコントローラーなどのデジタル機器間で音楽情報を伝達するために作成されました。MIDIはオーディオそのものではなく、むしろオーディオを作成するための「レシピ」のようなものです。ClariMateは以下の4種類のMIDIデータを送信します。

①ピッチ: 演奏している音符。

②ベロシティ: 音の強さ（ダイナミクス）。

ClariMateでは、デジタル管楽器でダイナミクスを制御するにはMIDI CCメッセージの方が一般的に便利なため、この値はデフォルトで80という定数値に設定されています。

③MIDI CC: コントロールチェンジメッセージ（MIDI CCメッセージとも呼ばれます）は、

ベロシティとは独立してダイナミクスをコントロールできるため、単一の音符内でクレッシェンドやディミヌエンドといった表現力豊かなテクニックを駆使できます。

また、シンセサイザーやサンプラーの任意の数のパラメータを動的に変化させることもでき、表現力豊かなコントロールを無限に広げることができます。

ClariMateでは、ブレスセンサーのデータはMIDI CCメッセージを介して通信され、ClariMateアプリのMIDIページでどのMIDI CCを使用するかを選択できます。

④ピッチベンド: アクティブ・リード使用時に、ビブラートなどの音程表現に使用されます。

MIDIコントローラーであるClariMateは、ClariMateアプリの仮想MIDIポートを介して、数百もの他の音楽制作アプリケーションと通信できます。しかし、ClariMateは他の音楽アプリケーションと互換性があるとはいえ、ClariMateの表現力豊かなブレスコントロール機能を活用できるアプリケーションは限られています。

そこでBuffet CramponではAcousticsamplesと提携し、ClariMate用に開発された 使いやすく分かりやすい無料のMIDIサンプラー「MIDIMate」を開発しました。このサンプラーでは、クラリネット、テナーサクソ、トランペット、フルート、ヴィオラという、専門家によって設計された5種類の楽器を使い、演奏を楽しむことができます。

MIDIMateは、当社のウェブサイトよりダウンロードいただけます。

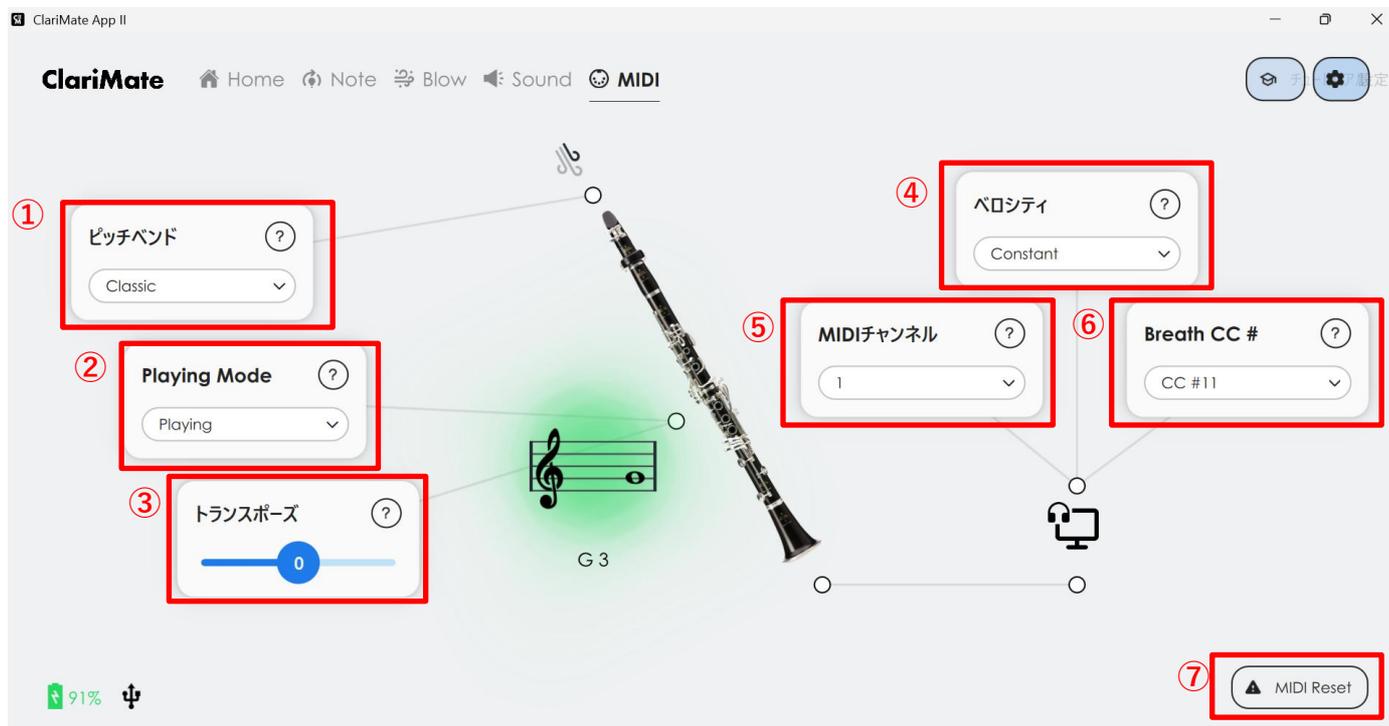
MIDIMateは、CC#11経由で送信されるブレスコントロールデータを「リッスン」するようにプログラムされています。ClariMateをCC#2またはCC#7経由でブレスコントロールデータを送信するように設定した場合、MIDIMateは正しく動作しません。

同様に、デジタル管楽器用に設計された他のソフトウェアシンセサイザーの中には、CC#2またはCC#7経由でブレスデータの送信を必要とするものがあります。

ClariMateがこれらのプログラムで正常に動作しない場合は、ClariMateと連携させようとしているアプリケーションのマニュアルを参照し、アプリケーションが受信を期待しているCCメッセージを確認してください。

## MIDIコントローラ機能

ClariMateのアプリケーションを開くと、「ClariMate MIDIアウト」と呼ばれる仮想 MIDIポートが自動的に作成されます。これにより、ClariMateを仮想シンセサイザーやDAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）などの音楽制作アプリケーションへの MIDI入力のほか、アプリケーション制御にも使うことができます。



- ① 3つのピッチベンドモード (Clarinet、Classic、MIDI Mate) を切り替えることができます。  
Clarinet : 音ごとに利用可能なピッチベンドの最大量を制限することで、通常のクラリネットのピッチベンド特性をエミュレートします。  
Classic : 標準のMIDIコントローラのように、すべての音に対して制限のないピッチベンドダウンが可能です。  
MIDI Mate : MIDI Mateと互換性のある方法で、クラリネットモードと同じ機能を実行します。
- ② **Playing Mode** : 演奏をする場合は**Playing**、楽譜作成ソフトを使用する場合は**Notation**を使用してください。  
**Notation**では、Sibelius、MuseScore、Doricoなどの記譜ソフトウェアでの使用を想定して設計されています。40msの短い遅延時間で厳密な音符フィルタリングを実現し、よりクリーンで効率的な楽譜作成を実現します。
- ③ **Transpose** : MIDIノートに移調します。ここでは、ClariMate内部のサウンドの移調には影響しません。
- ④ **Velocity** : MIDI Velocityを固定（推奨）とダイナミック（動的）から選択できます。  
Constant : すべての音のMIDI Velocityが80で送信されます。  
Dynamic : 各音の息圧レベルに応じて異なるMIDI Velocityが送信されます。
- ⑤ **MIDIチャンネル** : ClariMate アプリがメッセージを送信するために使用する MIDI チャンネルを選択します。
- ⑥ **Breath CC#** : ブレスセンサーデータにリンクするMIDI CC#を選択します。  
MIDI Mateやその他のほとんどのソフトウェアではCC#11が推奨されます。  
電子管楽器専用に設計されたソフトウェアではCC#2が推奨されます。
- ⑦ **MIDI Reset** : ノートのスタックやその他のMIDIの問題が発生した場合に、すべての送信MIDIメッセージをクリアします。

## MIDIMate

MIDIMateは、初めてMIDIに触れるかたのために開発されたClariMate用のアプリケーションです。（英語版）アプリケーションはMac OSまたはWindowsコンピューター用であり、iOSとAndroid OSではお使いいただくことはできません。アプリケーションは、下記の当社ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

アプリケーションのダウンロードはこちらから  
[https://Clarimate.jp/support/\(日本\)](https://Clarimate.jp/support/(日本))



### ● MIDIMateアプリケーション画面



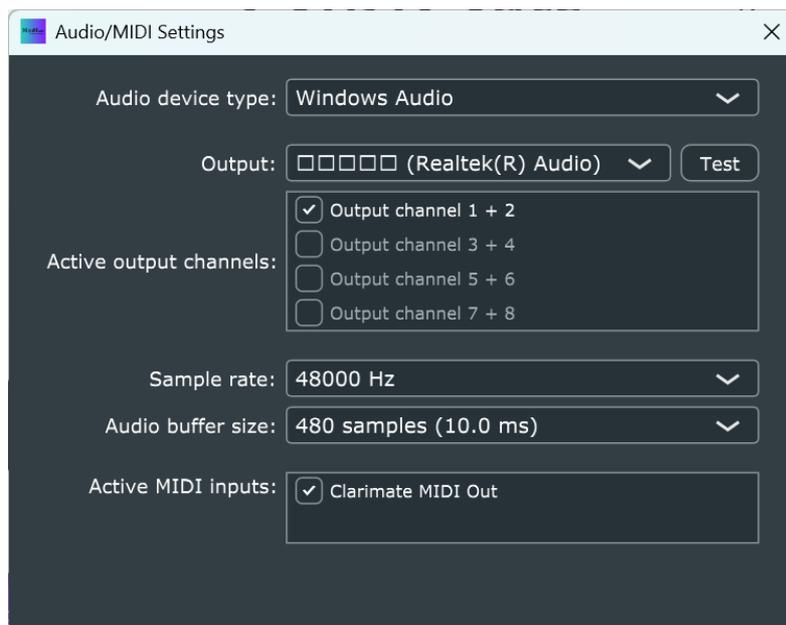
音色を変える場合は、このタブをクリックしてください。

### ● MIDIMateを使用する手順

- ClariMate をUSBモードまたはBluetoothモードで起動し、ClariMateアプリケーション（MacOS版もしくはWindows版）と接続します。
- ClariMateアプリケーションの「MIDI」のタブを開いた状態で、MIDIMateアプリケーションを立ち上げます。
- MIDIの設定を変更していない場合は、そのまま演奏をすることができます。
- MIDIMate以外のMIDIアプリケーションを使用したあとにMIDIMateをお使いになる場合は、MIDIのチャンネル設定を次の通りに行ってください。（コントロールチェンジをCC2またはCC7に設定している場合、MIDIMateは正しく機能しません。）
- MIDIMateを使用する場合、イヤフォンやヘッドフォンからではなく、コンピューターの内蔵スピーカーから音が流れます。音が聞こえない場合は、スピーカの音量をご確認ください。

## ● MIDIMateのオプション機能

MIDIMateの左上の「Options」の「Audio/MIDI Settings」では、システムに適したオーディオ出力を設定することができます。



**Audio device type** : 初期設定では、Windows Audioが表示されます。外部オーディオインターフェースや

サウンドカードを使用する場合は、リストからデバイスの種類を選択できます。MIDIMateアプリケーションでは、サウンドカードを使用すると、より良いレイテンシーと音質を得ることができます。

**Output** : 使用するオーディオデバイスを選択してください。

**Active output channels** : 上記のデバイスの物理的な出力チャンネルを決定します。ほとんどのデバイスは2つのチャンネル（左と右、または1と2）のみですが、特定のオーディオインターフェースやサウンドカードによっては複数のチャンネルがあります。

**Sample rate/Audio buffer size** : サンプルレートとオーディオバッファサイズは、コンピューターやオーディオデバイスの性能に応じて変更できますが、音割れなどのノイズが聞こえ始めた場合は、必ず初期設定に戻してください。

\*サンプルレートとは、オーディオのサンプルが1秒間に何回キャプチャーされるかを示すもので、キロヘルツ（kHz）で測定されます。

\*バッファサイズとは、コンピューターがデータを処理するのに必要なサンプル数のことです。バッファサイズを小さく設定すると、レイテンシーが低下しますが、CPUリソースをより多く消費します。

\*レイテンシーとは、入力（ClariMateで演奏すること）と出力（コンピューターがMIDIMate音声出力する）の間の遅延のことで、ミリ秒単位で測定されます。参考までに、レイテンシーが約15ミリ秒を超えると演奏中に遅延を感じはじめます。

レイテンシーはバッファサイズをサンプルレートで割って計算されます。全体のレイテンシーは、ClariMateとコンピュータの間のUSB接続のレイテンシー、ClariMate自体のレイテンシー、および信号経路にある他のデバイスに左右されます。

# トラブルシューティング

## ClariMate がオンになりません。どうすればいいですか？

- ① Windows または macOS 用の ClariMate アプリの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。アプリケーションは、ClariMate 公式ウェブサイトよりダウンロードしてください。
- ② ClariMate が付属のケーブルで壁のコンセントに接続し、少なくとも 8 時間充電されていることを確認してください。その後、ClariMate をリカバリモードで起動し、ファームウェアを再インストールしてください。（起動方法：P.9）

## ClariMate が遅くなる/間違った音を再生しますが、どうすればいいですか？

- ① ClariMate に読み込まれたキャリブレーションファイルが原因である可能性があります。キャリブレーションファイルマネージャーを使用して新しいキャリブレーションファイルを作成し、Note タブで緑色の背景で表示されていない運指をキャリブレーションしてください。詳しくは、音のキャリブレーション・運指の設定（P.15）をご確認ください。
- ② ClariMate はアンプや騒音の多い環境では使用しないでください。また、室温以外の環境は ClariMate の音程認識能力に影響を与える可能性があります。ご使用前に、ClariMate とクラリネットの温度が安定していることを確認してください。
- ③ ClariMate はバレルの奥まで、そしてバレルもクラリネットの奥までしっかりと押し込む必要があることにご注意ください。ClariMate は、A = 440Hz にチューニングされたクラリネットで使用するように設計されています。

## アクティブ・リードが動作せず、調整もできません。

リードのキャリブレーションに関する問題は、クラリネットのマウスピースの素材に原因がある場合があります。アクティブリードは硬質ゴム製のマウスピースで使用するよう設計されており、プラスチックなど異なる素材のマウスピースでは正しく機能しない可能性があります。

## ヘッドホンから音が聞こえません。

- ① アプリ内または本体の音量ボタンを使用して音量レベルを調整してみてください。
- ② 別の有線ヘッドフォンを使用してみてください。
- ③ アプリケーションの「Blow」タブでブレスセンサーのメーターを確認してください。メーターがグレーゾーンを越えない場合は、以下の手順をお試しください。

- ・ 抵抗感の調整をする

- ・ 息がブレスセンサーに届いていることを確認してください。マウスピースとアクティブリードの間の開口部が閉じすぎているか、何か他のものが空気の流れを妨げている可能性があります。

それでも問題が解決しない場合は、Mac、Windows、または Android でリカバリモードでファームウェアをオンにし、USB ケーブルを使用してアプリに接続して、ファームウェアを再インストールしてみてください。

そのほかの事象で ClariMate がうまく動作しない場合は、お気軽にヘルプデスクまでお問い合わせください。

# 仕様

品名	ClariMate(クラリメイト)
品目番号	BC9713-0
製品サイズと重量	5cm x 6cm x 8cm 45g
使用電池	リチウムイオン電池(USB-Cコネクタにて充電 / 満充電まで8時間)
連続使用時間	最大4時間
接続ポート	USB-Cコネクタ、3.5mmミニジャック
通信機能	USB、Bluetooth(受信のみ、送信機能なし)
技術基準適合証明番号	210-103220

## ● 互換性のあるApple モデル

iPad (A16)、iPhone 16 Pro Max、iPhone 16 Pro、iPhone 14 Plus、iPhone 14、iPhone 13、iPhone 13 mini、iPhone SE (第3世代)、iPad mini (第6世代)、iPad (第9世代)、iPad Pro 12.9インチ (第5世代)、iPad Pro 11インチ (第3世代)、iPad Air (第5世代)、iPhone 12 Pro Max、iPhone 12 Pro、iPhone 12、iPhone 12 mini、iPhone 11 Pro Max、iPhone 11 Pro、iPhone 11、iPhone SE (第2世代)

iPad Pro 12.9インチ (第3世代)、iPad Pro 11インチ (第1世代)、iPhone XS Max、iPhone XS、iPhone XR、iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8

第1世代 Apple、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPad mini、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

「Made for Apple」バッジの使用は、当該アクセサリがバッジに示されたApple製品専用に接続できるように設計され、Appleの性能基準を満たすことが開発者によって認定されていることを意味します。Appleは、本製品の動作、または安全基準および規制基準への適合性について一切責任を負いません。

## ● Bluetooth について

- Bluetooth は 10m (33ft) の範囲内でのデバイス間無線通信技術であり、2.4GHz 周波数帯を使用します。
- Bluetooth® のマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. 社の所有する登録商標です。  
Buffet Crampon S.A.S.による当該マークの使用は、ライセンスを取得しています。

### Bluetooth 通信の取り扱いについて

Bluetooth 対応デバイスが用いる2.4GHz 帯域は、多くの種類の機器が共有している無線帯域です。

Bluetooth 対応デバイスでは同じ無線帯域を用いて他のコンポーネントへの影響を最小限に抑える技術が採用されていますが、そのような影響により通信の速度や距離が減少したり、場合によっては通信を妨げたりする場合があります。信号伝達速度および通信可能距離は、通信機器、障害物の有無、無線状況、および機器の種類に応じて距離によって異なります。

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンは、このユニットと Bluetooth 対応デバイスとの間での全ての無線接続に対し保証はいたしません。

### 高周波放出についての注意

- 次の行動は法律で罰せられる可能性があります。
- 本デバイスを分解または改造すること
- 本製品背面に貼付されている認証ラベルを剥がすこと
- 本デバイスを購入国以外の国で使用すること
- 本製品は心臓ペースメーカーが設置されている場所から22cm (8-11/16") 以上離してください。  
ペースメーカーの動作に影響を及ぼす危険性があります。
- 無線周波数 (運転周波数) .....2,402MHz ~ 2,480MHz
- 最大出力 (EIRP) .....4.0dBm (2.5mW)



# お問い合わせ

ClariMateのお取り扱いや使用方法についてお困りの際は、ClariMate ヘルプデスクまでお問い合わせください。  
また、ご購入者のみなさまへ予約制にて使い方サポートを行っております。

ClariMate ヘルプデスク	<a href="https://Clarimate-japan.freshdesk.com/support/home">https://Clarimate-japan.freshdesk.com/support/home</a>	
ClariMate 使い方サポート	<a href="https://www.bc-studentclarinet.jp/clarimate-support/">https://www.bc-studentclarinet.jp/clarimate-support/</a>	

本マニュアルに記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

